

平成 29 年度 相互理解連携論

○平成 29 年 12 月 5 日 (火) 「相互理解の基本」

- ◆ 相互理解とは何か
 - ・ 相手を理解する
 - ・ 自分を理解する



- ◆ 相互理解を深めるために必要なこと

参加者の相互理解を深める、相互理解の基本として、人の見方のポイントを理解する、相手に対する見方の癖や、先入観によって対人認知がずれることを理解する、をねらいとしてイメージ交換ゲーム「意外な一面」を行いました。

○平成 29 年 12 月 12 日 (火) 「連携をすすめる上で必要なスキル・1」

- ◆ 医療コミュニケーション
 - ・ 対話を通じたヘルスプロモーション
 - ・ アサーティブ・コミュニケーション、コーチング、ファシリテーション

東京大学大学院医学系研究科 医学教育国際研究センター 孫大輔先生から「医療コミュニケーション」の講義を受けました。演習では、プレイバックシアター コンダクターの井上和亨先生から、「プレイバックシアターをやってみよう！」というテーマで、即興劇に取り組みました。

プレイバックシアターとは、個人的な現実の話在即興劇にするという手法です。医療職のコミュニケーションにとって重要な「相手の気持ちを感じ、自分の気持ちを表現する」という演習を、プレイバックシアターの手法で行いました。



○平成 29 年 12 月 19 日 (火) 「連携をすすめる上で必要なスキル・2」

- ◆ 情報の共有によるコラボレーション
 - グループにおける自分の役割
 - 自己評価

個人のもつ情報や能力を共有化して、コラボレーション（共同作業）することの必要性に気づく、効果的な情報の伝達、吟味、加工のポイントを理解する、課題達成にあたり、グループ内での思考の共有化を図りながら進めることの難しさを理解する、をねらいとして、コラボレーションゲーム「9人のポジション」を行いました。

